

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔カメラ〕 （店長）	・販売量と来客数が伸びており、当業界はこれからシーズンに入るため、今以上の伸びを示す。 ・新製品なども多数出てくるため、販売量も更に伸びる。
		衣料品専門店（店長）	・以前、量販店でのスーツ購入に流れた客が戻ってきており、それに加え、デパートで購入していた客層の流入も見込まれるため、良くなる。
		衣料品専門店（店長）	・フレッシュマン需要が苦戦している反面、ビジネス層の春物需要の立ち上がりが高く、来月以降に本格的な立ち上がる兆しが出ている。
		スナック（経営者）	・世界中のビックニュースは沢山あるが、その割には来店している。またリピーターも少し増えている。
		観光型ホテル（経営者）	・5月以降の問い合わせは順調である。 ・イラク情勢のためか、高級旅館への新婚客の問い合わせが毎日発生している。
		観光名所（職員）	・現在、県内では河川観光業者が軒並み休業や倒産しており、他社を利用していた客が当社に流れてくる可能性が高くなっている。
	競艇場（職員）	・ナイターレースの開催などで、若干ながらも来客数の増加が期待できる。	
	変わらない	商店街（代表者）	・郊外に大型量販店とカテゴリーキラーが大挙して出現している。毎年のようにこうして中心部商店街の一般的な小売店の百軒分とか二百軒分の施設ができるため、中心部商店街の売上が伸びるわけがない。これは景気というよりも構造的な問題である。
		百貨店（売場主任）	・ブライダルギフトなどの大口需要が少なくなっている。ただ仏事対応だけが単価上昇の期待が持てる。 ・予定している特売会では、シビアな売上を予想している。
		百貨店（企画担当）	・イラク情勢などの与件はあるが、現状ではまったく予想がつかない状況であり、変わらない。
		百貨店（広報担当）	・ヤングからミッシー、ミセスに関しては購買意欲が感じられるものの、シニア、シルバー層の購買意欲を喚起できないでいる。 ・国内外の不安要因に加え、競合店のリニューアルなど読みにくい状況にある。
		百貨店（売場担当）	・これから催事やイベントが目白押しで、その分のシャワー効果はあるが、単価が低くそれほど変わらない。
		スーパー（経営者）	・今後、売価をかなりの商品で切り下げようと考えている。これにより来客数、客単価はキープできると思うが、利益をどれだけカバーできるかを考えると、どちらとも言えない状況である。
スーパー（経営者）		・今のような厳しい状況がこのまま続くが、場合によってはもっと悪くなる。 ・今の状況では、株価が上昇する見込みもなく、賃金は全体的には同じが低下する人が多く、イラク情勢の推移によっても、消費者心理に与える影響は大きい。	
スーパー（店長）	・買上点数や来客数の動きは変わらないが、一点単価の下落が続く、売上、利益共に圧迫されている。 ・タイムサービスなどのパーゲンハンターが多く、客単価も上昇の見込みは無い。		
スーパー（店長）	・イラク情勢の景気への影響が懸念される。原油価格の上昇が最も大きな不安材料であり、家計支出がより一層節約指向になる。		
衣料品専門店（経営者）	・イラク情勢の早期終結は望めず、統一地方選挙が始まり、買い控えが目立つ。		
乗用車販売店（経営者）	・イラク情勢が早く解決し、ガソリンなどの値上げ分が元の価格に戻れば、社会の安定と共に期待ができる。		
その他専門店〔家電〕 （経営者）	・こういった状況は、以前からずっと長く続いており、今後もまったく良くなるといっても過言ではない。誰もが将来に対して悲観的に考えており、消費意欲が湧いてこないということである。		

高級レストラン（支配人）	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊の予約状況は、前年比90%くらいである。 ・宴会予約は、4、5月はほぼ前年並みの予約状況であるが、6月は落ち込んでいる。 ・レストランの予約は前年とほぼ同じ水準である。
一般レストラン（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・競合他社も販売価格を低く設定しており、来客の分散化が目立ってきている。
観光型旅館（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・来月の出足が悪いので、この部分の仕上がりがどうなるか懸念される。 ・長期化しそうなイラク情勢の影響がまだ見えない状況である。かつては蓋を開けるまで分からないと言っていたが、今は蓋を閉めるまで分からない。
観光型旅館（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・4月は統一地方選挙があり、一時的な落ち込みが予想される。 ・5～6月の予約状況は、平日は0。ゴールデンウィークはかなり予約が入っており、休前日なども予約が入ってきている。5月以降は、前年並み程度である。 ・海外旅行自粛のムードが出ているようだが、当館の来客動向には何の影響もない。米国テロの経験では、プラスの影響はなく、逆に沈んだ気分が広がり、旅行マインドが冷える。
都市型ホテル（スタッフ）	<ul style="list-style-type: none"> ・11月以降、前年実績を上回る月が増えており、ホテル全体としてはいいムードであるが、4月は県議選と市議選があるため、客の手控えを感じる。しかし、5月は、予約状況が良く、全体的には良い基調で推移する。 ・民間よりも官公庁の需要が依然として多いというのが実態で、むしろその傾向は強まっている。
都市型ホテル（スタッフ）	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度は、医療費負担の増加など家計を圧迫する要素が多く、賃金よりも雇用が優先され、ベースアップも望めず、マインド的にはいつもと変わらない。
通信会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済がデフレ状態にある中、イラク情勢により、デフレの中でもガソリンの値上がりなどが目立っている。こういった好ましくない状態が続き、将来の景気に悪い影響を与える。
遊園地（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・ライバル施設との共同キャンペーンの展開など、前向きな施策で下支えを図る。 ・団体客については、旅行代理店からのコミッション要請などがあり、厳しくなることが予想される。
住宅販売会社（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・低コスト住宅は動いているが、ここに来て高品質を求める動きが出てきており、二極化が見られるようになっている。また贈与税、ローン減税などの効果で、現在の好調さは続く。
住宅販売会社（従業員）	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション販売は好調であるが、立地条件の良い物件は足が速く、高い物件や利便性の低い物件は相変わらず売れ残っており、状況に変化は無い。
やや悪くなる	<ul style="list-style-type: none"> 一般小売店〔書籍〕（経営者） <ul style="list-style-type: none"> ・社会時局ものの関連本や雑誌が多く発刊されているが、売上貢献にはほど遠い状況である。 百貨店（売場主任） <ul style="list-style-type: none"> ・イラク情勢にもよるが、戦争そのものの経済への影響と共に、消費者心理が一段と悪化する。 百貨店（企画担当） <ul style="list-style-type: none"> ・競合店の新規出店もあり、ますます競争が激化するため、売上が上昇する見込みはない。 百貨店（販促担当） <ul style="list-style-type: none"> ・先日、当県のシンクタンクが発表した景気動向調査では、当県の景気はほぼ横ばいということであったが、今般の戦争により、トラベル関係ではキャンセルが相次ぎ、消費マインドに水を差している。 スーパー（総務担当） <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット関係商品はほとんど変わらないで推移しているが、ビデオレンタルやタイヤ交換などのサービスの一品単価が低下している。 コンビニ（エリア担当） <ul style="list-style-type: none"> ・政情不安という部分で、直接的な影響というものではないが、チケット販売では、海外アーティストの来日が延期になったりといったことが発生しており、売上に貢献するはずのチケットが売れなくなっている。 コンビニ（エリア担当） <ul style="list-style-type: none"> ・イラク情勢の影響が今後どう出てくるか、不透明である。 コンビニ（エリア担当） <ul style="list-style-type: none"> ・増税や保険料の負担の増加など、新聞やテレビなどで報道されるたびに客の買い控えが起きる。

コンビニ（店長）	・仕事が無く、人の動きが少なくなり、製造または小売業はかなり厳しいという現状を目の当たりにしている。数年前と比べて何が決定的に違って、悪い状況になっているのかという疑問を持つ人が多く、こうした声が出るうちは、まだまだ良くならない。
衣料品専門店（店長）	・デフレも一段落した感はあるが、高単価商品を求める客の数では、売上増を望めない状況である。
乗用車販売店（経営者）	・グリーン税制の駆け込み需要の反動と、少雪のため1、2月の販売が例年よりもプラス5～10%と予想以上に増えていること反動で、販売量が減少すると見ている。 ・サービス在庫も、客そのものが減少しているため、前年よりも2ケタ規模で減少する。
乗用車販売店（経営者）	・イラク情勢の国内景気に与える影響やクルマの燃料代の上昇懸念、優遇税制の改定などで、市場の動きは縮小する。 ・他社との競合が激しく、台数の確保ができて、獲得利益が減少するという厳しい見通ししか立てられない。
乗用車販売店（従業員）	・3月末になって、客の動きがぱったり途絶えている。4、5月は低迷期であり、6月には新型車が投入されるが、時代にマッチした車種ではないため、受注も見込めない。
住関連専門店（経営者）	・裕福な客層の買上は減少していないが、一般客の購買頻度が大きく減少すると見ている。
住関連専門店（経営者）	・3月は年間で最も売上の大きい時期であるが、催事を実施しても売上が伸びず、このままイラク情勢が長期化することで、景気に悪影響を与えないことを願うばかりである。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・イラク情勢や株価の動きなど、不安材料が多く、将来的には消費が落ち込む。
その他専門店〔酒〕（営業担当）	・先行き不透明感に加え、イラク情勢の影響が懸念される。日本にとってはあまりいい影響が無いと思う。
その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・3、4月は人が動くので、良いが、それが一段落すれば、落ち込む。 ・社会情勢から、ものの値段がどう変わるか、気になる。物価上昇に伴って、買い控え、などが起きないか心配である。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・石油業界では、イラク情勢の終結と同時に大きな波が来て、更に悪くなると予測している。
一般レストラン（経営者）	・2～3か月先の見通しでは、予約の状況を見ても、やはり芳しくなく、タクシーの運転手さんの話も良い話がなく、同業他店の閉店が相次いでいるので、全くもって良くない状況である。
一般レストラン（スタッフ）	・戦争が始まり、気持ち的に景気は下向くのに加え、原油価格が上昇するためものが高くなり、そういう意味でも不景気になる。
その他飲食〔そば〕（経営者）	・消費のマイナス要因ばかりが目立つ社会情勢であり、決まった小遣いの中で支払う食事代はますます低下する。例えば来客数が伸びたとしても、単価の低下に追いつかない状況になる。
都市型ホテル（経営者）	・プラン商品を発売したため、4月までの受注は好調であるが、5月以降の受注が昨年より悪く、今後よほど頑張らなければ後半の売上増は難しいと見ている。他社に対抗し、イベントの回数を増やし、何とか受注増に結びつくよう努力しているが、現状では悪くなるという感じである。
都市型ホテル（経営者）	・2～3か月後は、各種総会の時期であるが、昨年よりも一段と、出席者数の減少、単価の低下などが見込まれている。今の送別会需要に比べ、若干悪くなる。
通信会社（営業担当）	・IP電話関連の価格の安い新しいプロダクトが次々とリリースされる見込みであり、今後は若干なりともその影響を受ける。
テーマパーク（職員）	・戦争が始まり、先行き不安である。
観光名所（職員）	・イラク情勢により、旅行動向に悪影響が出てくる。
住宅販売会社（従業員）	・例年、新年度に入ると、受注、販売件数が増加するが、イラク情勢や最近の地価動向などで、住宅業界は厳しい方向に推移する。
悪くなる	一般小売店〔医薬品〕（経営者） ・イラク情勢が、消費者の不安要素として大きく作用しており、消費経済を冷え込ませている。 一般小売店〔雑貨〕（企画担当） ・消費者は、慎重に選択して購買している。これは消費に回せる金が少なく厳しい状況にあるというためであり、将来についても消費に回せる金が増える見込みもないという認識である。

		スーパー（経営者）	・イラク情勢の長期化に伴う将来不安や、地方選挙の影響で悪くなる。
		スーパー（店長）	・競合店の改装が続いており、また近くの商圈に競合店がオープンするため、状況は悪くなる。
		スーパー（店長）	・いよいよ県外のディスカウントストアが進出してきた。まだ競合出店は数か月先になるが、客の流出は免れない。
		衣料品専門店（店長）	・社会情勢を見ても、景気回復は考えられない。特にこの戦争によるデフレスパイラルは更に加速する。
		自動車備品販売店（経営者）	・学生の就職率低下による、自動車販売が低迷し、今後良い材料が無い。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・客に買い控えの動きが強く、夏タイヤの動きなどは例年より著しく遅れている。買い替え需要が少なくなり販売が激減するなど、総じて買い替え需要の低迷により全体が低迷している。
		旅行代理店（従業員）	・イラク情勢の長期化が見込まれる。既にガソリンや灯油などの石油製品の値上げが始まっており、どこかに別の問題があるのかもしれないが、家計を直撃していることは確かである。
		タクシー運転手	・深夜2時頃まで稼働していたが、今は客が全くいない状況である。早く終わっても、遅く終わっても、変わらない。
		美容室（経営者）	・景気が悪い上に、イラク情勢の問題があり、消費者意識や経営者のマインドに悪影響を及ぼし、ますます消費の伸び悩みが大きくなる。これは湾岸戦争の時にも起きており、今回はもっと強く出る。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業（企画担当） 経営コンサルタント	・量的な増加は見られるが、イラク情勢によっては先々変わる。 ・輸出関連の下請け企業では、周囲の環境に影響されず、自社開発などで自立する企業になりたいという相談が増えている。
変わらない		食料品製造業（経営者）	・リストラの終了で、好決算の企業が増え、またイラク情勢により国内旅行が増えるといった効果に期待している。
		食料品製造業（経営者）	・このたび、民事再生法の適用申請をし、地域の皆様にご迷惑をおかけしている。 ・適用以降は、一日も休まず再生に向けて努力する。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・引き続き、仕事量、金額の厳しさが続く。仕事を受注しても、それに見合う利益が出てこないという状況はずっと続く。
		電気機械器具製造業（経営者）	・最近の情報は、従来より早くなっているが、決定までに時間がかかり過ぎて、その分短納期となっている。物理的に製造不可能な物件が多発している。またコスト対応も半端でない状況である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・特にイラク情勢の影響で、物価が上昇している部分もあるので、変わらない。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・イラク情勢次第で変わる。
		輸送業（従業員）	・原油価格の値上がり心が心配である。
		金融業（営業担当）	・企業が人件費を始めとする企業リストラを一層強めてはいるものの、保証協会のセイフティネット保証など資金供給体制が整い始めている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・これから、気候が良くなるので、段々と購買力は増すと思うが、こういった景気の中では、当面はお金を使わないようにするというのが現状である。
		その他企業〔管理業〕（従業員）	・年度末は、例年フル操業になるが、今のところ、少ない状態である。しかし、仕事は少しずつ増えてきており、多少良くなる。
		やや悪くなる	
一般機械器具製造業（経理担当）	・4月以降の自動車部品の受注動向は、やや陰りが見え出し始めている。それも最新情報が入る度に、下方修正幅が大きくなっている。		
建設業（経営者）	・設備投資計画が全て後送りになっている。この状況では、現在よりもっと景気が悪くなる。		
建設業（経営者）	・仕事の減少に伴い、余剰人員を抱えている企業が多い。建設業への依存度が高い東北の失業問題は今後も続く。		
輸送業（経営者）	・イラク情勢や北朝鮮問題などの社会不安によって、経済の冷え込みがますます大きくなり、景気は悪い方向に向かう。		

		<p>広告代理店（営業担当）</p> <p>新聞販売店〔広告〕（店主）</p> <p>その他企業〔企画業〕（経営者）</p>	<p>・新年度からの得意先の具体的な動きが出ておらず、例年よりも遅い。</p> <p>・シケによるわかめの大損害で、購読を停止した長期の読者が複数いる。わかめ業者はまだいるので、波及する業種も大きく広い。</p> <p>・イラク情勢とその影響を眺めているという客が多く、その連鎖的な悪影響が出てくる。</p>
	悪くなる	<p>繊維工業（営業担当）</p> <p>電気機械器具製造業（総務担当）</p> <p>輸送業（従業員）</p> <p>広告代理店（従業員）</p> <p>公認会計士</p> <p>コピーサービス業（経営者）</p>	<p>・イラク情勢の影響が大きく、景気が最悪の状況になる。</p> <p>・イラク情勢の長期化は、日本経済の低迷を長引かせ、受注量の大幅減に結びつくことが懸念される。</p> <p>・イラク情勢が長期化すれば、航空機燃料が即値上がりし、運賃上昇となり、航空貨物業界は大きな打撃を受ける。</p> <p>・3か月先までの昨年度実績を潰しているが、昨年度の案件が廃止になったり、また予算が削減されるなど、暗い状況である。</p> <p>・不況感が充満している中でのイラク情勢であり、しかも長期化が見込まれるため、一段と悪化する。</p> <p>・ゼネコン不況の中にあつて、我々コピー業者もその影響を受ける。</p>
雇用 関連	良くなる		
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	<p>・ここに来て、求人の新聞広告が増えている。営業職を求めてもなかなか応募者が集まらないところをみると、多少は雇用の改善が進んでいるものと思われる。ただし、これが季節的なものでなければ良いのであるが。</p>
	変わらない	人材派遣会社（社員）	<p>・入札案件が入っており、多忙ではあるが、前年と比べ、好転するような内容ではない。</p> <p>・企業の合理化や移転、組織変更などで、一時的な人の需要はありそうだが、2～3か月先の景気を好転させるようなものではなく、現状維持である。</p>
		人材派遣会社（社員）	<p>・良くなるような材料が見当たらない。</p> <p>・欠員補充が派遣を利用するきっかけの1つであが、補充もしないという企業も多々ある。また、2人の派遣を1人にするなど、人を増やそうという動きがほとんどない。</p>
		人材派遣会社（社員）	<p>・工場などの大口雇用を抱える企業が直接雇用するという動きは今後あまり考えられないため、変わらない。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・足踏み状態が続いている生産活動の中で、個人消費も停滞しており、活発な経済の動きは期待できず、雇用面においても当分の間横ばいの動きになると思われる。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・新規求職者数は、前年に比較して減少傾向にあり、事業主都合離職者数も大きく減少しているが、今後は、不良債権処理などの影響で求職者数は増加する。</p>
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	<p>・取引業者の絞込みが進んでおり、今後の取引の影響が見込まれ、契約終了の可能性のある企業が増えてきている。</p>
		求人情報誌製作会社（編集者）	<p>・イラク情勢を始めとする経済的な不況、売上不振がじわじわと浸透してくれば、景気は悪くなる。</p>
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	<p>・イラク情勢や選挙など大きなインパクトがあるが、消費動向の膠着が続き、よくなる見込みは無い。</p>
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	<p>・イラク情勢の動向が、早くも旅行業やエネルギー関連業に影響を与えている。長引くようであれば、採用その他求人を探る会社が増える懸念がある。</p>
		職業安定所（職員）	<p>・自己都合離職者の減少などを受け、求職者数は徐々に沈静化する傾向にあるが、事業主に積極的な求人への意欲が見られない。</p>
職業安定所（職員）		<p>・イラク情勢や北朝鮮問題などで、企業経営者の多くは、今年度前半は消費が低迷すると見ている。そのため雇用問題も今の状況から改善されない。</p>	
悪くなる	アウトソーシング企業（社員）	<p>・市町村の合併による客数の減少と、それに伴う競争の激化、場合によっては赤字を出しても受託しなければならない局面が出てくるため、悪くなる。</p>	
	求人情報誌製作会社（編集者）	<p>・戦争が長引くかもしれない。</p>	